



近畿ブロック老人クラブリーダー研修会

4部門に分かれ意見交換

令和6年度近畿ブロック老人クラブリーダー研修会が6月27日(木)、京都府民総合交流プラザで開催されました。近畿2府4県4政令市から約200名の参加があり、神戸市老連から24名が参加しました。

舞鶴ゆうさい連さんのよさこい踊りのオープニングに続いて、参加者全員が能登半島地震の犠牲者および老人クラブの物故者への黙とうを捧げました。次に近畿老人クラブ連絡協議会会長兼兵庫県老人クラブ連合会会長である中村美津子会長挨拶、来賓挨拶があり本研修会が始まりました。

午前は全国老人クラブ連合会河野敦子参事によ



る基調報告と、大谷大学山下憲昭名誉教授の「超高齢社会を生きぬく条件」と題する講演がありました。

午後からは第1分科会「健康づくりの推進」フレイル予防を目指して、第2分科会「友愛活動の推進」孤独化、孤立化を防ぐ、第3分科会「会員増強の取り組み」組織の活性化を目指して、第4分科会「他団体との協働」地域共生社会の実現を目指しての4つのグループに分かれて、皆さんそれぞれ意見をぶつけ合う熱い議論を繰り広げていました。第2分科会では、KOBESHINIAクラブ松木伸年理事から「地域友愛活動における助け合い事業の推進事例」と題し発表がありました。

討論終了後は、いきいきクラブ体操を行い、次回開催地である本市から近藤豊宣理事長が来年度の日程を発表。閉会の挨拶があり本研修会は無事終了しました。

来年度は10年ぶりに神戸市で開催されます。ぜひ素晴らしい研修会にしていきましょう。

会員増強研修会



地道な活動で交流の輪を広げる

令和6年度の会員増強研修会を7月26日(金)、総合福祉センターにて開催しました。研修会には単位クラブ会長等41名が参加し、KOBESHINIAクラブ近藤豊宣理事長の開催挨拶の後、2つの事例発表がありました。

事例発表1では、北区有野台鶴令会会の天野征一郎会長より、日頃からふれあい喫茶や絆サポーター活動などを地道に行い、会員外の方との交流を深めた結果、日帰りバス旅行に参加するために20名の新規入会があり、絆の大切さを感じたそうです。

事例発表2では、垂水区東部老人クラブの鴨川則幸会長より、輪投げ、グラウンドゴルフ、麻雀教室、シニアヨガ教室、民踊りなどのサークル活動や、こども園や小学校と交流、誕生会・敬老祝賀会などの多彩な行事を実施するとともに、垂水区老連の会員増強ツールを活用することで、会員数増加に成果があったと報告がありました。

事例発表後は意見交換を行い、今後の会員増強活動のヒントを得ることができた有意義な研修会となりました。

KOBEシニアクラブ会長・リーダー研修会

最新手口を学び特殊詐欺防止

令和6年6月21日(金)、神戸文化ホール・中ホールにて、482名が参加したKOBESHINIAクラブ会長・リーダー研修会が行われました。

講演が行われました。特殊詐欺の手口として最も多いのが「架空料金請求詐欺」、次いで多いのが「還付金詐欺」となっており、被害者の多くは高齢者となっているそうです。

KOBESHINIAクラブ近藤豊宣理事長の挨拶に続いて、兵庫県警察本部犯罪抑止対策室長の斉藤正樹警視より『特殊詐欺の現状と被害防止対策について』というテーマで

話をかけてくるのかなどのお話があり、参加された皆さんは相づちを打ったり、メモを取ったりしながら真剣に話を聞いておられました。

講演後は、兵庫県警察音楽隊の演奏会が行われ皆さんも手拍子をしたりと、一緒に歌ったりなどして会場は大変盛り上がりしました。

新任会長研修会



会長の心得を学ぶ

令和6年7月12日(金)、神戸市立総合福祉センターにて令和6年度新任会長研修会を開催し、昨年の6月以降に単位クラブの会長に就任された新任会長45名が参加しました。

研修会では、文化研修部会の森松リキ子部会長より老人クラブ組織のあり方や組織の運営など『老人クラブ運営の基本』について、ご自身の経験もふまえ分かりやすく講義いただきました。

いきいきクラブ体操 指導者養成講習会

筋力つけ転倒予防

令和6年7月24日(水)、婦人会館で高齢者の下肢筋力やバランス能力の低下を防ぎ、転倒予防を目指す、いきいきクラブ体操の指導者養成講習会を行いました。

講習会には、各区老連の女性委員会のメンバーを中心に総勢44名が参加し、熱心に練習に取り組みました。

